

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 3 月 5 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47 (21)	服薬事故が多くある。 落葉が特に多く、入居者様の状態にあった薬の形状が行われてない。	落葉の事故を無くす。	<ul style="list-style-type: none"> 最新のマニュアル作成 服薬時は2名で確認かつ薬の開封は本人の前で行い、顔と名前が一致しているか確認してから開封する。 服薬後の袋の破棄の確認も必ず2名体制で行う。 	6ヶ月
2	6 (5)	身体拘束と虐待の研修内容が重なっている。	身体拘束と虐待の違いについて全職員が理解できる。	身体拘束と虐待の研修内容を分けて研修会を行う。身体拘束ゼロを目指す、やむを得ない場合もあるので、やむを得ない場合の対応策を研修会で意見交換を行う。また、虐待については、虐待の種類、通報義務等、継続した研修を通し理解してもらう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。